

# 東北情報通信懇談会 資金援助事業実施概要報告書

支援: 様式4

事業の名称	いわてまるごと科学・情報館		
開催日	12月16日(金)、17日(土)	開催場所	ビッグルーフ滝沢
会場来場者人数	約400人	実施結果に対する感想・反省等	<p>● 科学技術分野と情報分野のイベント合同開催により展示規模や内容の拡充が図れた。</p> <p>● イベントの事前周知では、従来のポスター・チラシの配布・掲示、県が実施する広報媒体にエントリーし、テレビ・ラジオ媒体、各種SNSによるイベント周知を実施したほか、イベント専用サイトの開設、デジタルサイネージ広告等、デジタル技術を活用した新たなイベント周知を実施した。 このことから、チラシ・ポスターを配布するだけではわからなかった、周知効果を数値化することができた。 また、一部アンケートにおいて、もっと案内でイベントの存在を教えてほしいとの声があったことから、今後、デジタル技術を活用しながら、イベント来場者のメインターゲット層に効果的に周知できるよう取組みたい。</p> <p>● これまで紙で実施していたスタンプラリー及びアンケートを、イベント終了後の事務作業の簡略化、来場者の利便性向上のため、デジタル(スマートフォンでの参加)と紙のハイブリットで実施した。 結果、データがCSV形式で出力されるため、集計作業はデジタルの方が、紙の集計よりスピード及び精度が向上した。 その反面、メインターゲットとしている子供にスマートフォンでの参加は難しく、保護者も子供と一緒に紙で参加する割合が高かったため、デジタルの参加率は低かった。 次年度以降はデジタルの活用方法やアンケート及びスタンプラリーの参加方法を含めて検討する必要がある。</p> <p>● イベント当日は来場者向けにアンケートを実施し、以下のとおり回答を得ている。(400人中172人回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・是非、年に数回開催して欲しい。</li> <li>・ブースがたくさんあって楽しかった。</li> <li>・色々知らないことがあり、体験してすごく楽しかった。</li> <li>・たくさん体験することができる事をチラシでもっとアピールした方が良い。</li> </ul>
主催団体等	主催: いわてSociety5.0フェア実行委員会 いわてまるごと科学館実行委員会 共催: 東北情報通信懇談会 後援: 総務省東北総合通信局等		
実施概要	7月に開催した同イベントより、出展事業者数が増え、更に内容の拡充を図ることが出来た。 16日(金)には、県内の高校生や就職を控えた年次の専門学校生を主な対象に、最新の情報通信技術(ローカル5G)をメインテーマにセミナーを開催した。学生の今後のキャリア形成や社会の一員として羽ばたいていく中で、情報通信技術の利活用を通じた地域振興・社会貢献について考える機会となった。 また、東北総合通信局、APPLIC、岩手県主催の地理空間情報の利活用をテーマとした「地域情報化広域セミナー2022inいわて」を併催することで、両イベントの相乗効果を図った。セミナーには、自治体職員や事業者等、様々な方に聴講いただき、データの重要性及び地域振興やイノベーション創出におけるデータの利活用について、理解を深めることが出来た。 これらをはじめ、科学・情報通信技術がもたらす未来社会を実感できる展示やセミナーの開催により、次代の科学・情報通信技術を担う人材育成や、最先端の科学・情報通信技術の活用、DXがもたらす社会生活の変革について、幅広い層の県民が考える契機となった。		

